


国立国会図書館の

来た道、 行く道

令和6年3月14日(木) 14:00-16:00

会場：国立国会図書館 東京本館 新館講堂 (13:30開場)

参加費：無料

申込み：申込みフォームからお申し込みください 

* 3月11日(月) 17:00まで/先着順

<https://www.ndl.go.jp/jp/event/events/20240314lecture.html>



◇ 登壇者 ◇



永江 朗氏

著述家
(モデレーター)



長尾 宗典氏

筑波大学
人文社会系准教授

『帝国図書館
—近代日本の「知」の物語』



中井 万知子氏

日本図書館協会
分類委員会委員長

『夢見る「電子図書館」』



竹内 秀樹

国立国会図書館
収集書誌部長

国立国会図書館では、現在、デジタルシフトを掲げるビジョンの下、デジタル化と遠隔サービスの充実に全館を挙げて取り組んでいます。当館の歴史において画期をなすであろうこれらの取組を可能にしたのは、納本制度に支えられた資料収集、設立以来一貫して継続する書誌データの作成と資料保存、また目録の機械化から電子図書館の構築に至る新技術への果敢な挑戦でした。

本講演会では、国立国会図書館の歴史に関する著作『帝国図書館—近代日本の「知」の物語』及び『夢見る「電子図書館」』の各著者を講師に迎え、前身を含め、これまでの長きにわたる当館のあゆみを振り返ると共に、出版流通論、近代出版文化史に詳しい著述家の永江朗氏をモデレーターとし、デジタルシフトの次の段階における当館の果たすべき役割を議論します。

〈プログラム〉

- 14:00-14:05 開会の辞（国立国会図書館長）
- 14:05-14:30 長尾宗典氏講演
「帝国図書館の遺産：国立国会図書館に引き継がれたもの」(仮)
- 14:30-14:55 中井万知子氏講演
「データひらを拓く。国立国会図書館の電子化への道：書誌情報から電子図書館へ」(仮)
- 14:55-15:05 休憩（10分）
- 15:05-15:55 パネルディスカッション
モデレーター：永江朗氏
パネリスト：長尾宗典氏
中井万知子氏
竹内秀樹
- 15:55-16:00 閉会の辞（国立国会図書館副館長）



『帝国図書館—近代日本の「知」の物語』
長尾宗典
中央公論新社、2023

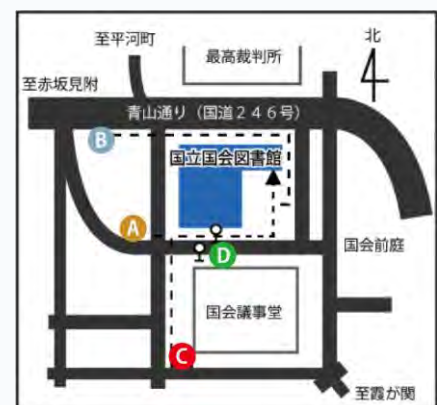


『夢見る「電子図書館」』
中井万知子
郵研社、2023

〈アクセス〉

東京都千代田区永田町1-10-1

- 東京メトロ
 - ① 有楽町線「永田町駅」2番出口徒歩約5分
 - ② 半蔵門線・南北線「永田町駅」3番出口徒歩約8分
 - ③ 千代田線・丸の内線「国会議事堂前駅」1番出口徒歩約12分
- 都営バス
 - ④ 橋63系統「国会議事堂前」徒歩約5分



〈問合せ先〉

国立国会図書館 収集書誌部 収集・書誌調整課 納本制度係
TEL: 03-3581-2331（代表） E-mail: nosei-event@ndl.go.jp

